

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱		都市のさまざまな活動を支える都市基盤 の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	円滑で利便性の高い総合的な交通体系を 確立する	取組の 基本方向	「円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する」ため、公共交通で円滑な移動ができるようにする ための「公共交通ネットワークの充実」、円滑な道路交通を確保するための「道路ネットワーク の充実」環境負荷の低減や、あらゆる人々の利用に対応するための「ひとや環境にやさしい交通環境 の創出」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目 標)	総合的な交通体系の構築により、円滑で利便性の高く、ひとや 環境にやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
--------------	--	------------------------------------	----------------	----------------------------	-------------	---	----------------------	---

担当課 交通政策課

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	ひとや環境にやさしい交通環境の創出		施策の 達成 状況	施 策 指 標 (単位)						達成率 (%)			
	施策目標	環境への負荷が少なく、誰もが利用しやすい交通環境が形成されています。		H 1 9 : 基準	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4 : 目標				
施策を取巻く 環境	高齢社会の進展などにより、高齢者や障がい者を含むすべての人が利用しやすい交通環境の整備や、環境負荷の 低減や市民の健康志向の高まりなどにより、都市内交通の一手段として自転車を利用・活用した施策展開が求め られている。		現 状 課 分 析 の と 抽 出	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---			
市民の 施策満足度	26.9%	達成している (90%以上)		概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	ノンステップバスの導入や、レンタサイクルの本格実施に向けた取組を計画的に進めて おり、目標は概ね達成している。	実績値	実績値	実績値	実績値	---	
市民の 施策重要度	74.4%	増加している		横ばい	減少している	説明	高齢社会の進展や環境負荷の低減、自転車に対する関心の高まりなどから、必要性は高 まっている。	13.7	17.8	21.5	24.4	27.4	30.0
		十分である		不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	市民ニーズに対応した見直し等をはかり、効率的かつ総合的に各事業を進めていく。	---					---
		十分である	やや不十分であ る	不十分である	説明	ノンステップバスの導入や自転車の利用環境整備等の目に見える効果のほか、環境面 での意識啓発活動も行われており、十分な効果をあげている。							

3 今後の取組方針

取組の 考え方	交通環境においては、今後さらに高齢化や環境問題への対応が求められる。そのため、ノンステップバスの導入等、事業者の取組については、目標達成に 向けて、今後とも国や県とともに積極的に支援していく必要がある。また、レンタサイクルの利便性の向上を図るとともに、自転車利用・活用の現行の「走 る」「止める」「借りる」などの施策に「環境」「観光」「スポーツ」などの新たな観点を盛り込んだ、自転車のまちづくりを総合的に推進していく計画の 策定に向けて取り組んでいく。	→	政策評価 会議意見	環境への負荷が少なく、誰もが利用しやすい交通環境を形成するため、ノンステップバスの導入や道路のバリアフリー化 を計画的に推進していくとともに、平成22年度には「自転車のまち推進計画」を策定し、自転車利用・活用に向けた新 たな施策を展開していくこと。
------------	---	---	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

事業名	対象者	開始 年度	活動指標等	H 1 9	H 2 0	H 1 9	H 2 0	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
				目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1 人にやさしいバス導入費補助金	路線バス事業者	H 9	人にやさしいバス (ノンステップバス)の導入台数 (台)	12	12	24,800	21,860	A	継続	バスのバリアフリー化を促進していくため、今後も国や県とともに、ノンステップバスの導入促進に向けて、 継続的に支援を行っていく。
2 自転車利用・活用の促進	自転車利用者	H 1 5	なし	-	-	59	596	A	継続	自転車利用・活用に関する事業の実施に向けて、関係機関との協議を引き続き実施するとともに、計画的に事 業を進めるため、平成22年度には「自転車のまち推進計画」の策定を行う。
3 レンタサイクル事業	中学生以上で安全に自転 車を利用できる人	H 1 5	レンタサイクル設置台数(台)	110	110	5,138	5,233	A	見直し	平成21年度より道路維持課に業務を移管して駐輪場管理業務と一体化し、レンタサイクル事業を本格実施す る。
再掲 道路バリアフリー推進事業	すべての道路利用者	H 1 3	点字ブロック整備延長(m)	1,200	1,500				継続	障がい者や高齢者を含めた全ての人に対し、安全・安心な歩行空間を確保するため、計画的に事業を進める。
再掲 もったいないうつのみや推進事業	市民	H 1 7	もったいない宣言家庭数(家庭)	2,500	2,500				継続	意識啓発活動であり、即座に効果が出る事業ではないことから、より実効性の高い事業を長期的に取り組んで いく必要があるため、継続していく。
再掲 家庭版環境ISO普及事業	市内の家庭	H 1 4	ハンドブック配布数(冊)	3,500	4,000				継続	家庭での環境意識の高揚を図るうえで有効な手段であることから、継続して実施し、地域まちづくり組織との 連携や協力店の拡大に努め、認定家庭のさらなる普及拡大を目指す。
再掲 事業所版ISO普及事業	市内の中小事業者	H 1 5	制度説明会数(回)	4	4				継続	事業所への環境マネジメントシステムの普及を目的に、宇都宮商工会議所と連携している事業であり、「事業 所部門」での温室効果ガス削減に向けた取組として有効であることから、さらに促進を図るため継続してい くとともに、「エコアクション21」に対するインセンティブ付与などについて検討を進める。
再掲 東西基幹公共交通(LRT)の導入	市民・来街者	H 6	東西基幹公共交通(LRT)の導入 に向けた検討・調査及び市民理解の 促進	協議会等 における検討 や市民理解 の促進	協議会等 における検討 や市民理解 の促進				継続	東西基幹公共交通(LRT)の導入については、総合的な公共交通ネットワークを構築するうえで、重要な役 割を担うものであることから、LRTを含めた将来の公共交通ネットワークへの市民理解の促進を図ることと し、具体的な整備計画を検討する。
施 策 事 業 費 合 計						29,997	27,689			